



令和7年度えひめっこピカイチ大賞表彰式



令和8年1月9日（金）、県庁第一別館3階第3・5会議室において、えひめっこピカイチ大賞表彰式が行われました。



タイピング部門



計算部門



読書部門



情報活用部門

この事業は、子供自らが決めた目標に対する取組を認め励ますことで、向上心をもって生活する態度を育てることを目的として、平成27年度から実施しています。

対象となるのは、県内公立小・中学校、県立中等教育学校（前期課程）、県立特別支援学校（小学部・中学部）の全児童生徒です。

今年度は【タイピング部門】【計算部門】【読書部門】【情報活用部門】の4部門を設定し、募集したところ、県内で1,858名が令和7年度ピカイチ大賞に認定されました。内訳は次のとおりです。

【タイピング部門】	759名	【計算部門】	699名
【読書部門】	381名	【情報活用部門】	19名

認定者の中から、15名が県庁で、愛媛県教育委員会 高岡 哲也 教育長、愛媛県教育研究協議会 川上 斉睦 会長、日本教育公務員弘済会愛媛支部 川崎 豊 支部長から表彰を受けました。その他の認定者の表彰は、後日、各学校で行われます。



令和7年度 えひめっこピカイチ大賞 代表児童の挨拶より
(小学6年生 タイピング部門で受賞)

今回はえひめっこピカイチ大賞タイピング部門で、このような賞をいただきありがとうございました。

タイピングを始めた頃は、なかなかうまく打てずに苦労しましたが、毎日練習を続けているうちにだんだんと打てるようになり、楽しくなっていました。友達と競い合ったり、励まし合ったりして「他の友達に負けないぞ。」という気持ちも出てきて、より頑張ることができました。諦めずに練習を続けてよかったです。タイピングが得意になるとパソコンを使うのがもっと楽しくなりました。これからも練習を続けて、もっと上を目指していきたいと思います。タイピングだけでなく他のことにも色々と挑戦していきます。

この度は、本当にありがとうございました。

今後も、この賞を励みに県内の子供たちが、自分の目標実現に向けて一生懸命に頑張るえひめっこに育ってほしいと願っています。